

平成27年度

事業報告書

平成27年4月1日～平成28年3月31日

一般財団法人 日本サイクルスポーツセンター

平成27年度 事業報告

平成23年に競輪補助事業方針の変更が示された以降の本センターの事業運営は、「収支バランスを損ねて大幅な赤字が発生し、そのため遠からず資金の枯渇を招くおそれがあった」と言わざるを得ない経営状況となっていた。

そのため、平成24年度・25年度に施設のリニューアルを実施し、併せて経費の削減につながる各種合理化策を実施することで財政の安定化を推進してきた。本年度は、その総仕上げとして「財政健全の確保」を至上命題とし、引き続き収入の確保と支出の抑制に努めるとともに、幅広い層に注目していただける「自転車を中心とした生涯スポーツ施設づくり」に向けて、より効率的かつ質の高いサービスの提供が可能となるよう諸事業の見直しにも努めてきた。

一方、7月5日 伊豆の国市にある葦山反射炉がユネスコの世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産の構成遺産」として正式に登録され、周辺には多くの観光客が訪れて賑わいを見せている。

また、本センターにあっては12月9日 IOCの理事会において2020年東京オリンピック自転車競技(トラック及びマウンテンバイク競技)の競技会場として正式指名が決定した。更には、1月26日～30日の間、本センターの伊豆ベロドロームを会場として2016年アジア自転車競技選手権大会(トラック競技)が開催された。昭和48年9月にも本センターを会場として同選手権大会が開催されているが、43年ぶりの同大会は上記のオリンピック自転車競技会場の決定の報道もあって、連日多くの観戦客を集めることができた。地元行政や静岡県等のオリンピック開催に向けた自転車競技熱の高揚を図るための機運醸成策が功を奏し、観戦客動員に繋がったと言える。

本センター自らの努力は無論のこと、上記のような本センターにとって「環境の大きな好転」とも言える出来事が重なったことから、本年度の一般有料入場者は前年度に引き続き15万人の大台を確保することができた。また、単年度の資金収支ベースの決算において、ようやく赤字から黒字に転換するに至った。

本年度実施した主要な施策は、次のとおりである。

- 健全経営の確保に向けた諸施策の実践(増員・増収、支出抑制の両施策の継続)
- 東京オリンピック自転車競技の競技会場指名に伴う会場整備に関する組織委員会等との打ち合わせスタート
- 国際的な自転車競技大会の受入、協力
- 地域行政との連携

なお、事業の実施に際し、自転車競技の普及促進及び競技力の向上に資する事業並びに青少年の健やかな成長を育む活動の各事業については、それぞれ公益財団法人JKAから公益事業振興資金の補助を受けた。

1. サイクルスポート施設の運営等に関する事業

(1) 各種施設の提供

5キロサーキット、MTBコース及び伊豆ペロドローム等の自転車競技施設並びに室内フットサル場、体育館の屋内スポーツ施設並びに野外活動施設のDAYキャンプ場、自転車競技大会の参加者及び合宿者の宿泊場所でもある宿泊施設サイテル等の諸施設を広く一般に提供し、サイクルスポーツを中心とする生涯スポーツの普及に努めた。

特に、有効活用に向けてきた伊豆ペロドロームにおいては、2016年アジア自転車競技選手権大会の開催、また当施設では2年ぶりとなる第84回全日本自転車競技選手権大会トラックレースの開催により、大会利用については対前年で1,564人増の4,897人(対前年比146.9%)となり、合宿利用では前年を下回ったものの、全体として2,400人増の11,980人(対前年比125.1%)となった。

本事業年度における伊豆ペロドロームの利用者数は、次のとおりである。

[伊豆ペロドローム利用者数]

(単位：人)

利用区分	前年度	本年度	増減	前年対比
一般利用	72	53	▲19	73.6%
大会利用	3,333	4,897	1,564	146.9%
合宿利用	1,757	1,252	▲505	71.3%
訓練利用	3,074	3,988	914	129.7%
その他利用	1,344	1,790	446	133.2%
合計	9,580	11,980	2,400	125.1%

※ペロドロームにおける大会開催数：24件(前年度25件)

[静岡県立伊豆総合高等学校の体育科目選択授業]

- ・実施期間：平成27年9月7日～平成27年12月14日
- ・生徒数：2年生 15人、3年生 17人、17人(2グループ)
- ・実習回数：15回(各グループ5回実施) 延べ 245人

(2) その他の事業

このほか、自転車競技施設及びトレーニング施設の貸与、各種自転車及び関連機材の貸出し、各種自転車の展示等の事業を行った。

(3) 入場者

本年度上期は、4月から6月にかけて全国的に気温が高く、31の地点で春の平均気温が観測史上最も高い値を更新した。また、7月から9月にかけては前線の通過により、曇りや雨の日が多く気温の低い日が続き、特に9月には台風第18号が東海地方に上陸し、東日本を中心に広範囲で大雨となり、さらに台風第17号が北上した影響も加わり、関東地方から東北地方では記録的な大雨(平成27年9月関東・東北豪雨)になり、河川の氾濫など大きな被害が生じた。

一方、本センターの入場者は、まず4月において営業日の約半数が雨天となり、対前年で2,000人減の12,247人（対前年比86.0%）と不安なスタートとなり、さらに5月は1日から6日までのGW期間で50人、7日以降も548人前年を下回り、結果対前年で598人減の28,825人（対前年比98.0%）となった。

また、7月から9月にかけては、営業日84日に対し27日が雨天日となり、さらには8月下旬の気温低下による早い夏の終わり、また台風上陸なども重なり天候に左右された期間であった。

特に、夏休み期間は集客力の高い流水プールの営業に期待されたが、対前年で1,696人増の12,199人（対前年比116.1%）に止まり、8月には夜間音楽イベント「ソルステイス・ミュージック・フェスティバル」の開催により4,786人の来場があったが、反面、大会・合宿利用者の大幅な減員があり、結果対前年で301人減の35,421人（対前年比99.2%）と横ばいであった。

9月は、営業日27日に対し12日が雨天日となったが、6年ぶりとなるシルバーウィークには特に影響することなく、9月19日から23日の間に11,270人（平成21年度10,255人）の来場があり、結果対前年で5,748人増の17,434人（対前年比149.2%）となった。

よって、上期総入場者数は114,549人となり、対前年比101.8%と前年度実績をやや上回る結果であった。

下期については、本年度秋の台風や冬の雪による影響はなく、また冬季が温暖な気候であったこともあり、11月を除くすべての月で前年度を上回ることができた。特に1月は、2016年アジア自転車競技選手権大会の開催もあり、3,781人増の11,665人（対前年比148.0%）であった。

よって、下期総入場者数は68,962人、対前年比109.9%と上期に続き前年度実績を上回り、本事業年度における総入場者数は、183,511人、対前年比104.7%であった。

なお、本事業年度の詳細は（別表1-1）月別入場者、（別表1-2）入場者内訳及び（別表1-3）施設利用者内訳のとおりである。

2. 自転車競技並びにサイクルスポーツの普及奨励

（1）アジアサイクリングセンター（CCC修善寺）の運営

ア. 国内トレーニングキャンプ

国際自転車競技連合（UCI）におけるワールドサイクリングセンター（WCC）構想の下、アジア各国の自転車競技連盟の推薦を受けた将来有望なトラック競技者をCCC修善寺に集め訓練研修を行った。

また、本年度からは、日本人選手（特にユース及びジュニア世代のナショナルチームに属さない者）も積極的に受け入れ、基礎的なトレーニングとともに同年代の海外アスリートと国際交流を持ち、今後海外の大会で活躍するための貴重な機会を創設した。

本事業年度における開催は、次のとおりである。

[第1回国内トレーニングキャンプ]

開催期間：平成27年6月21日～平成27年7月4日

参加者：3カ国 — 7名（選手6名、コーチ1名）

香港チャイナ 2名（選手 2名）

タイ王国 3名（選手 2名、コーチ1名）

日本 2名（選手 2名）

当初の申込者のうち、タイ王国のコーチ1名、日本の選手1名、及びウズベキスタンの選手4名・コーチ1名が、それぞれ体調不良や国内事情等の理由から直前にキャンセルとなり、3カ国から6名の選手とコーチ1名を向かい入れ、第1回トレーニングキャンプを行った。

参加選手の年齢は15～17才と若かったため、体力及び技術面で基礎的なトレーニングプログラムを実施した。特に、前半期のボリュームのあるトレーニング実施時には、体調の変動がかなりあったため注意深く選手を観察しながらのトレーニングとなった。期間を通しては、日本の高校生選手との合同セッションなど、良好にトレーニングを遂行できた。

[第2回国内トレーニングキャンプ]

開催期間：平成27年11月5日～平成27年11月18日

参加者：3カ国 — 7名（選手 7名）

香港チャイナ 1名（選手 1名）

タイ王国 2名（選手 2名）

日本 4名（選手 4名）

3カ国から7名の選手を向かい入れ、第2回トレーニングキャンプを行った。

今回の参加者も14～17才までと若いアスリートであったことから、体力及び技術面で基礎的なトレーニングプログラムを実施した。各選手のペダリングや乗車フォームの癖を見抜き、効率的なフォームやペダリングに改善するようポジションの調整や指導等を行った。

期間中、2回の週末にそれぞれ日本の高校生選手が参加したが、最初はぎこちなかったものの同年代ということもあり、さまざまな方法によりコミュニケーションをとる姿が散見された。また、8日～12日までは、日本スポーツ振興センターの種目最適型プログラムの参加者たちともトレーニング会場、そして宿泊も共有した。

イ. 海外トレーニングキャンプ

アジア自転車競技連合（ACC）の協力のもと、資金面で来日が困難なアジア各国への便宜を図るため、CCC修善寺のコーチングスタッフを地理的にも治安的にも環境に優れたタイ王国へ派遣し、自転車競技者及び指導者を対象にしたトレーニングキャンプを実施し、自転車競技新興国に対する競技普及のアプローチを行った。

本事業年度における開催は、次のとおりである。

開催期間：平成27年9月29日～平成27年10月8日

開催場所：タイ王国・バンコク フアマーク自転車競技場

参加者：7ヵ国 — 33名（選手21名、コーチ12名）

中華人民共和国（上海） 3名（コーチ 3名）

香港チャイナ 1名（選手 1名）

カザフスタン 6名（選手 4名、コーチ 2名）

マレーシア 9名（選手 7名、コーチ 2名）

シンガポール 1名（選手 1名）

タイ王国 8名（選手 4名、コーチ 4名）

ウズベキスタン 5名（選手 4名、コーチ 1名）

カザフスタンとウズベキスタンを含む7つの国と地域から21名の選手と12名のコーチを向かい入れ、トレーニングキャンプを行った。特に、前年度に引き続き定員を上回る参加者があったことは、CCC修善寺のキャンプ参加生が国際規模の大会で好成績を収めていることがアジア各国にその指導方法を評価されている結果であると思料する。

効果としては、トレーニングキャンプ直後に開催されたACC Track Asia Cup 2015において、キャンプ参加選手13名が出場し、うち12名がメダルを獲得した。

ウ. ガールズサマーキャンプへの協力

公益財団法人JKA及び公益財団法人日本自転車競技連盟が主催する「ガールズサマーキャンプ2015」に指導協力を行った。

協力内容は、次のとおりである。

開催期間：（第1ターム）平成27年8月 8日～平成27年8月10日

（第2ターム）平成27年8月11日～平成27年8月14日

開催場所：本センター400メートルピスト、日本競輪学校体育館

指導対象：（第1ターム）22名（トラック競技初心者）

（第2ターム）22名（トラック競技1年未満）

指導スタッフ：8名

本年度は、参加者を第1ターム（トラック競技初心者）と第2ターム（トラック競技1年未満）の2つのグループに分け開催した。

特に第1タームにおいては、自転車競技を楽しんで成長できるような指導を心掛け、第2タームにおいては、効率的なペダリングや乗車フォーム、心拍数を利用した理論的なトレーニングの実践方法を交えながら指導を行った。

（2）自転車競技大会及び合宿の開催と受入れ

ア. 自転車競技大会

5キロサーキット、伊豆ベロドローム、MTBコース、BMXコースを始めとする本センター所有施設を活用し、各種自転車競技大会を企画・開催した。また、他団体が主催する様々な自転車競技大会を招致し、その開催にも協力した。

[主な主催大会]

- ・CSCクリテリウムシリーズ（全7戦） ※第5戦は雨天中止
- ・Challenge The Izu Velodrome（全3戦）
- ・BMXチャッキーカップ
- ・第18回CSC5時間耐久チームサイクルロードレース大会
- ・CSCトラック自転車競技大会2015夏（KID'S～マスターズ）
- ・CSCトラック自転車競技大会2015秋
- ・A&F24時間耐久MTB CUP in サイクルスポーツセンター

※平成27年度主催大会：15件 1,672名（前年度18件 1,652名）

[他団体が開催した主な大会]

- ・第40回チャレンジサイクルロードレース大会
- ・第84回全日本自転車競技選手権大会 トラック・レース
／2015 日本パラサイクリング選手権・トラック大会
- ・第18回ツアー・オブ・ジャパン 伊豆ステージ
- ・第56回全日本学生選手権トラック自転車競技大会
- ・JAPAN TRACK CUP I・II
- ・2015年JOCジュニアオリンピックカップ自転車競技大会
- ・2015伊豆BMX国際
- ・全日本選手権自転車競技大会ーマスターズ／オムニウム
- ・2015ワンデイ・トラックレース ウインターシリーズ（全3戦）
- ・2016年アジア自転車競技選手権大会
- ・CSC Classic 2016

※平成27年度他団体主催大会：44件 7,539名

（前年度44件 6,785名）

なお、詳細は（別表2）自転車競技大会一覧のとおりである。

イ. 自転車競技合宿

ナショナルチームを始め、大学や高等学校の自転車競技部、各種自転車競技団体等、延べ245団体3,192名（前年度292団体5,461名）の自転車競技者を誘致し、伊豆ペロドロームほか各自転車競技施設を提供した。

なお、前年度は第70回全日本大学対抗選手権自転車競技大会の開催による事前合宿の受入があったが、今年度は開催されず、結果対前年で47団体2,269名の減員となった

(3) 伊豆サイクルスポーツクラブの運営

本センターの施設・設備とスタッフを活用して、伊豆サイクルスポーツクラブの運営を行った。

同クラブは、性別、年齢、目的及び自転車競技経験の有無を問わず、トップ競技者を目指す者のほか、キッズクラスからマスターズ世代に至るまで幅広い層を対象に、原則として、トラック競技は毎週土曜日、MTB及びBMX競技は月2回土曜または日曜

日に活動した。さらに本年度は、ロード競技を月2回土曜日に実施し、オリンピック4競技のためのクラブ体制を整えることができた。

また、当クラブからは、開設当初小学生だった会員で現在はジュニアナショナルチームの代表選手に成長している者も輩出している一方で、自転車を楽しみながら、審判員の資格を取得し、競技運営に携わる者もおり、「生涯スポーツとして自転車を楽しむ」ライフスタイルが顕在化してきた。

[会 員 数]

平成26年度末：130名（トラック62名、MTB19名、BMX49名）

平成27年度末：111名（トラック59名、MTB 8名、BMX44名）

(4) 自転車競技体験キャンプの開催

自転車競技やサイクルスポーツの楽しさ等、自転車の魅力を充分に感じて頂き、自転車を生涯スポーツのアイテムとして利用促進するとともに、自転車競技愛好者の底辺拡大を図るため、トラック競技及びオリンピック3種目の宿泊型体験キャンプを開催した。

- ・子供のためのトラックキャンプ ※1泊2日（小学生、中学生を対象）
- ・トラックウインターキャンプ ※1泊2日（20歳以上を対象）
- ・オリンピック3種目体験キャンプ ※1泊2日（小学生、中学生を対象）

なお、詳細は（別表3）自転車スクール及び自転車キャンプ開催内容一覧のとおりである。

(5) 自転車スクールの開催

自転車愛好者の底辺拡大を図るため、自転車に乗れない女性を対象にした1泊2日の乗り方教室を5回、小学生を対象にした日帰りの乗り方教室を4回開催したほか、女性を対象にスクール修了者に対しステップアップ教室を用意し、アフターサービスの充実を図った。

また、初心者を対象としたロードバイクライディングスクールを5回開催した。

なお、詳細は（別表3）自転車スクール及び自転車キャンプ開催内容一覧のとおりである。

(6) クロストレーニングの受入・指導

自転車以外のスポーツ競技のオフシーズンにおけるフィジカルトレーニングとして、バレーボール選手に対し、自転車を利用したトレーニングプログラムによる指導を行った。

なお、詳細は（別表3）自転車スクール及び自転車キャンプ開催内容一覧のとおりである。

(7) 各種イベントの開催

ア. 自転車普及イベント

自転車の魅力や楽しさが満喫できるような自転車の国ならではの自転車普及イベントを開催し、自転車愛好者の底辺拡大に努めた。

- ・第12回CSC3時間耐久一輪車レース大会
- ・第26回新春静岡県一輪車競技大会
- ・2015伊豆ポタリングツアー
- ・2015FMIS CUP STRIDER Parkシリーズ戦（全4戦）
- ・第5回 STRIDER Mini Mini チャッキーカップ

なお、詳細は（別表4）イベント開催内容一覧のとおりである。

イ. スポーツイベント

自然環境に恵まれた本センターの各種訓練施設等を会場にして、スポーツイベントを開催し、スポーツへの参加機会を提供するとともに、サイクルスポーツの存在を認知させるよう努めた。

- ・第18回サイクル春の山菜採り健康ウォーキング
- ・体育の日「健康イベント」
- ・第11回伊豆サンタマラソン
- ・フットサル 1Dayナイトリーグ（全5戦）
- ・フットサル 山のカップ ビギナーズ The 10th

なお、詳細は（別表4）イベント開催内容一覧のとおりである。

（8）自転車競技の地域普及啓発活動

本センターに在籍する自転車競技の公認コーチ・インストラクター及びプロライダーを活用し、トラック、MTB、BMXの各競技体験プログラムを地元住民へ提供することにより、自転車競技と触れ合う機会を設け、伊豆地域における自転車競技の普及啓発に努めた。

また、三島市が主催するトップアスリートを育成する「みしまジュニアスポーツアカデミー事業」に参画し、タレント発掘のための活動に協力を行った。

このほか、静岡県立伊豆総合高等学校の体育科目選択授業の場として伊豆ベロドロームを提供し、トラック競技の技術指導に関する協力を行った。

なお、詳細は（別表5）自転車競技体験プログラム一覧のとおりである。

（9）ナショナルトレーニングセンター（NTC）競技別強化拠点の活用

ア. 受託事業

NTC自転車競技強化拠点施設として、スポーツ庁との委託契約に基づき、ナショナルチームの強化やジュニア競技者の計画的な育成を行うための施設の優先・専有利用及びトレーニング施設の競技条件の向上、科学的なトレーニングを行うための医科学サポート並びに情報ネットワークの構築等、競技力向上のための施設活用事業を行った。

また、パラリンピック競技におけるNTC競技別強化拠点施設としては、オリンピック競技と同様にスポーツ庁との委託契約に基づき基盤構築事業を行った。

イ. 協力事業

独立行政法人日本スポーツ振興センター（JSC）から公益財団法人日本自転車競

技連盟へ事業委託されているNTID種目最適型プログラム事業について、他スポーツ競技の選手を自転車競技に関与させ、その優れた身体能力を利用し、自転車競技選手としての育成を図るものであり、ナショナルチームへ入るまでの第1ステップ（導入期）の技術指導について協力した。

[指導協力]

日本スポーツ振興センター（JSC）主催

「NTID 種目転向型プログラム」への指導

開催期間：（第1次）平成27年11月 9日～平成27年11月12日

（第2次）平成28年 2月12日～平成28年 2月16日

参加者：（第1次）3名、（第2次）2名

3. サイクルスポーツに必要な自転車等に関する研究

自転車施設にレンタサイクルとして配備した各種市販自転車の利用後の評価に関してアンケート調査を行うとともに、日常の自転車利用の機会や目的等についてもデータを収集した。

4. サイクルスポーツ施設に付帯する施設等の運営に関する事業

（1）各種施設の提供

“安全性の確保”と“満足度の向上”を念頭に置き、ファミリーサーキット、おもしろ自転車、サイクルモノレール等の自転車関連施設及びサイクルコースター、スカイローラーを始めとする遊戯的施設等を一般へ提供した。特に、ファミリーサーキットにおいてはビーチクルーザー等の新車種を導入するなど、レンタサイクルの充実を図った。

また、平成26年3月に新規オープンしたこども広場「キッズアイランド」は、オープンから2年目を迎え、これまでの運営実績に対するお客様からの評価を基に、料金体系の見直しと幼児向け電動カートの導入など施設内設備の充実により施設の利用促進を図るため、平成28年4月開始に向け体制を整えた。

（2）その他の事業

シーズン毎に集客イベントを開催したほか、5キロサーキットコースを活用して各自動車メーカーによるPRイベントや野外音楽イベント「ソルスティス・ミュージック・フェスティバル2015」を開催、また自転車関連施設を素材とした魅力的なコンテンツを活用した撮影など、収益の増大を目的とした施設の貸与等の事業を積極的に行った。

5. 飲食等付随するサービス事業

飲食及び物品販売事業については、顧客満足度の向上に心掛け、飲食では夏気分を窺わせる「ロコモコ丼」、冬には地場産品の食材をふんだんに使用した、ホットメニューを取り揃えた。また、物販では人気の「弱虫ペダル関連グッズ」や東京オリンピック自転車

競技（トラック及びマウンテンバイク競技）の競技会場に指名されたことから「ベロドロームTシャツ」と「ベロドロームマフラータオル」の記念グッズを販売するなど、新たな商品開発に取り組み売上増進を図った。

また、繁閑に合わせた合理的な店舗営業日の設定や販売価格や食材等仕入れの見直しを行い、効率的な経営に努めた。

6. 広報及び誘致活動

パソコンや携帯電話の普及が著しい現況に鑑み、様々な情報を簡単に不特定多数の者へ到達させることができるなど、最も高い費用対効果が期待できる“インターネット”をフルに活用することとし、本センターのホームページについては、閲覧する方にわかりやすいデザインへリニューアルを図った。また、他のホームページとのリンク・情報メールの発信を積極的に行い、営業メニュー・自転車競技大会・イベント・各種スクール・季節毎の見所・各施設の営業状況等の情報をタイムリーに発信するよう努めた。この中で、子どもとお出かけ情報サイト「いこーよ」においては、本年度静岡県屋外部門の年間人気ランキングで2位を獲得するなど、本センターの注目が高まってきている。

このほか自転車競技大会やイベントの開催時には、新聞・チラシなどを媒体とした広告宣伝を実施したほか、各種報道機関や地元行政機関に対して、積極的な情報提供を行い、パブリシティ活動を推進した。

この中で、シーズン毎の集客イベントについては、有料広告としてテレビスポット60本のほか、県内新聞2紙へ出稿した。

パブリシティとしては、各メディアに対し積極的に情報をリリースし、テレビにおいては7局29回、新聞においては5紙に74回掲載された。

また、東京オリンピック自転車競技の競技会場指名による各メディアにおける報道は、テレビにおいては5局9回、新聞においては10紙に48回掲載された。

このほか、首都圏に対しては、経験豊富な専属の担当者を配し、旅行代理店並びに公官庁・大手企業・学校等への販売促進活動を展開する一方、地元に対しては、伊豆半島一円の宿泊施設や幼稚園及び保育園へ定期的に案内資料を提供し、誘客促進を図った結果、獲得した70件9,963名の団体予約に対する来場実績は9,533名であり、このほかスポーツ合宿等のサイテル宿泊者6,575名を獲得した。

なお、詳細は（別表6）広報宣伝活動内容一覧、（別表7）販売促進活動内容一覧のとおりである。

7. 2020年東京オリンピック自転車競技会場の指名と開催に向けた準備

平成27年12月9日のIOC理事会において、2020年東京オリンピック競技大会の自転車競技のうち、トラック及びマウンテンバイク競技の競技会場を本センターに移転する案が正式に承認され、平成27年12月11日付、組織委員会副事務総長名による競技会場指名の報告書を平成27年12月28日に受理した。

今後はオリンピック競技大会の成功に向けて協力していく中で、本センターにとっても良い方向で受入れが可能となるよう、組織委員会、静岡県等との協議・交渉の席に着く。

本年度開催された組織委員会との打合せは、次のとおりである。

[第1回定例打合せ]

開催日：平成28年3月 4日

担当者：会場整備局、大会準備運営第二局、テクノロジー局

[第2回定例打合せ]

開催日：平成28年3月28日

担当者：会場整備局、大会準備運営第二局、テクノロジー局、
国際渉外・スポーツ局

また、地元静岡県では、東京オリンピック自転車競技大会の成功に向けて「東京オリンピック自転車競技静岡県開催準備委員会」を組織し、全県を挙げた取組を行うための準備に取り掛かることとなり、平成28年3月25日に第1回目の同会議が開催された。

8. 国際的な自転車競技大会の受入・協力

平成28年1月26日から1月30日の5日間、アジア自転車競技連合（ACC）が主催する「第36回アジア自転車競技選手権大会」、「第23回アジアジュニア自転車競技選手権大会」並びに「第5回アジア・パラサイクリング自転車競技選手権大会」の各トラック競技が本センター「伊豆ベロドローム」を会場に開催された。

参加者は5日間で24か国から延べ1,518人、国際自転車競技連合（UCI）の定める五輪参加基準により、本大会はリオ五輪参加枠獲得のための選考レースとなっていることから、各国による白熱したレースが展開された。また、今大会はパラサイクリング競技も併催され、アジア大陸でのリオパラリンピック前哨戦としても注目を浴びた。

本センターにおいては、1973年の第6回大会以来2回目の開催となり、今大会では地元伊豆市をはじめ、近隣の各自治体からの支援や地元の小・中学校並びに高校から「一校一国応援運動」の協力も頂けた。

また、開催期間中は、大会の事前告知と伊豆ベロドロームが「東京オリンピック自転車競技（トラック及びマウンテンバイク競技）」の競技会場に指名された効果もあり、期間中の観戦者は8,503人と多数が来場された。

9. その他

（1）各種契約の見直し

段階的に自由化が進んでいる電力供給については契約内容の見直し、場内の電気・電話・ボイラー・水道・衛生・空調等基本設備については保守管理委託契約の再入札、本センターの事業目的に照らした土地の借用面積については地主との協議に伴う土地賃貸借契約の改定等を行い、関連する諸経費の節減を図った。

(2) 地域行政との連携

ア. 伊豆市事業への協力

“伊豆をサイクルスポーツ・サイクルレジャーのメッカに！”を合言葉に、伊豆市と自転車関係団体とが「サイクルメッカ伊豆推進協議会」を組織し、本センターも引き続き同協議会に参画している。

本年度は、平成27年5月に開催した第11回サイクルフェスティバル及び11月に開催した伊豆半島1周サイクリング事業への協力を行った。

イ. 静岡県事業への協力

地域資源の活用とスポーツをキーワードにした新たな事業の創出による地域経済の発展を目的に、地元企業と行政とが「静岡県東部地域スポーツ産業振興協議会」を組織している。

本センターは同協議会の設立発起人の一員として参画し、スポーツと宿泊・観光を組み合わせた新しいサービスや商品の開発等を推進する地域産業活性化事業への協力を行った。

(3) 各種資格取得の奨励・支援

本センターの事業運営に必要とされる各種資格については、担当業務を問わず、その取得を積極的に奨励し、本事業年度においては、日本サッカー協会・フットサル4級審判員1名、日本水道協会・水道技術管理者1名及び甲種防火管理者1名が資格を取得した。

なお、その詳細は（別表9）職員研修内容一覧のとおりである。

(4) その他

理事会・評議員会を始めとする諸会議の開催、規程の見直し、各種職員研修などの業務を必要に応じて行った。

また、12月に東京オリンピック自転車競技の競技会場の指名を受けたことから、全従業員を対象に「東京2020オリンピック競技大会及び自転車競技全般」について資質向上研修を実施した。

なお、その詳細は（別表8）諸会議開催内容一覧、（別表9）職員研修内容一覧のとおりである。

(別表 1-1) 平成27年度 月別入場者

[単位：人]

区 分	平成26年度			平成27年度			増 減	
	人 数	割 合	営業日数	人 数	割 合	営業日数	人 数	前年比
4 月	14,247	8.1%	27日	12,247	6.7%	27日	△ 2,000	86.0%
5 月	29,423	16.8%	27日	28,825	15.7%	28日	△ 598	98.0%
6 月	7,658	4.4%	21日	7,967	4.3%	24日	309	104.0%
7 月	13,811	7.9%	25日	12,655	6.9%	26日	△ 1,156	91.6%
8 月	35,722	20.3%	31日	35,421	19.3%	31日	△ 301	99.2%
9 月	11,686	6.7%	26日	17,434	9.5%	27日	5,748	149.2%
10 月	9,799	5.6%	26日	10,781	5.9%	26日	982	110.0%
11 月	11,243	6.4%	26日	9,826	5.4%	26日	△ 1,417	87.4%
12 月	8,852	5.0%	16日	10,022	5.5%	20日	1,170	113.2%
1 月	7,884	4.5%	19日	11,665	6.4%	23日	3,781	148.0%
2 月	6,212	3.5%	20日	7,045	3.8%	22日	833	113.4%
3 月	18,773	10.7%	28日	19,623	10.7%	28日	850	104.5%
合 計	175,310	99.9%	292日	183,511	100.0%	308日	8,201	104.7%

1. 平成26年5月31日付「サイクル温泉ゆーサロン」の廃業に伴い、上記月別入場者数には同施設の入場者数は含まない。

(参 考)

サイクル温泉 ゆーサロン入場者	11,381	—	54日	0	—	0日	△ 11,381	0.0%
--------------------	--------	---	-----	---	---	----	----------	------

(別表1-2) 平成27年度 入場者内訳

[単位:人]

区 分				平成26年度		平成27年度		増 減	
				人 数	割 合	人 数	割 合	人 数	前年比
有 料 入 場 者	入 場 券	個 人	おとな	21,572	14.3%	21,121	13.9%	△ 451	97.9%
			こども	5,473	3.6%	5,587	3.7%	114	102.1%
		団 体	おとな	33,061	22.0%	32,976	21.7%	△ 85	99.7%
			こども	8,431	5.6%	8,751	5.8%	320	103.8%
		計			68,537	45.5%	68,435	45.1%	△ 102
	とくとく パス	個 人	おとな	6,887	4.6%	6,604	4.4%	△ 283	95.9%
			こども	5,835	3.9%	5,580	3.7%	△ 255	95.6%
		団 体	おとな	24,135	16.0%	24,326	16.0%	191	100.8%
			こども	19,209	12.8%	21,115	13.9%	1,906	109.9%
		計			56,066	37.3%	57,625	38.0%	1,559
入 場 者	セ ツ ト 券	こども会	おとな	12	0.0%	31	0.0%	19	258.3%
			こども	20	0.0%	12	0.0%	△ 8	60.0%
	ス ク ー ル	おとな	841	0.6%	1,743	1.1%	902	207.3%	
		こども	282	0.2%	1,031	0.7%	749	365.6%	
	特 別	おとな	5,400	3.6%	4,625	3.0%	△ 775	85.6%	
		こども	2,067	1.4%	2,497	1.6%	430	120.8%	
	身 障 者			766	0.5%	135	0.1%	△ 631	17.6%
	計			9,388	6.3%	10,074	6.6%	686	107.3%
	大会・合宿等			11,869	7.9%	10,890	7.2%	△ 979	91.8%
	パターゴルフコース利用者			4,622	3.1%	4,667	3.1%	45	101.0%
一般有料入場者計			150,482	100.0%	151,691	100.0%	1,209	100.8%	
その他有料入場者			18,758	11.1%	23,245	13.3%	4,487	123.9%	
有料入場者合計			169,240	100.0%	174,936	100.0%	5,696	103.4%	
無 料 入 場 者			6,070	3.5%	8,575	4.7%	2,505	141.3%	
入 場 者 総 合 計			175,310	100.0%	183,511	100.0%	8,201	104.7%	
営 業 日 数 (日)			292	100.0%	308	100.0%	16	105.5%	
営業日における雨天日数(日)			64	21.9%	80	26.0%	16	125.0%	

1. 平成26年5月31日付「サイクル温泉ゆーサロン」の廃業に伴い、上記入場形態別入場者数には同施設の入場者数は含まない。

(参 考)

サイクル温泉ゆーサロン入場者	11,381	—	0	—	△ 11,381	0.0%
----------------	--------	---	---	---	----------	------

(別表 1-3) 平成27年度 施設利用者内訳

区 分	平成26年度		平成27年度		増 減	
	人 数	利用率	人 数	利用率	人 数	前年比
5キロサーキット	17,041	9.7%	19,030	10.4%	1,989	111.7%
ファミリーサーキット	58,878	33.6%	67,348	36.7%	8,470	114.4%
MTBコース	9,799	5.6%	8,982	4.9%	△ 817	91.7%
BMXコース	1,119	0.6%	1,418	0.8%	299	126.7%
STRIDER	290	0.2%	282	0.2%	△ 8	97.2%
伊豆ベロドローム	72	0.0%	53	0.0%	△ 19	73.6%
サイクルコースター	96,325	54.9%	90,303	49.2%	△ 6,022	93.7%
おもしろ自転車	99,876	57.0%	99,141	54.0%	△ 735	99.3%
サイクルゴーランド	54,267	31.0%	57,180	31.2%	2,913	105.4%
サイクルUFO	50,562	28.8%	53,936	29.4%	3,374	106.7%
サイクルモノレール	52,443	29.9%	54,851	29.9%	2,408	104.6%
水上自転車	52,433	29.9%	53,420	29.1%	987	101.9%
体育館・流水プール	10,503	6.0%	12,199	6.6%	1,696	116.1%
スカイローラー	88,093	50.2%	94,431	51.5%	6,338	107.2%
アスレチック迷路 キャッスルアドベンチャー	63,997	36.5%	68,070	37.1%	4,073	106.4%
室内フットサル場	10,966	6.3%	9,313	5.1%	△ 1,653	84.9%
パターゴルフコース	6,062	3.5%	6,500	3.5%	438	107.2%
コイン施設	410	0.2%	566	0.3%	156	138.0%
DAYキャンプ場 元気の森	3,746	2.1%	3,920	2.1%	174	104.6%
ウォーターバルーン	6,548	3.7%	6,116	3.3%	△ 432	93.4%
ふわふわドーム	21,347	12.2%	20,351	11.1%	△ 996	95.3%
こども広場 キッズアイランド	2,157	1.2%	2,755	1.5%	598	127.7%
ジャングルジム FUJISAN	39,056	22.3%	37,192	20.3%	△ 1,864	95.2%
合 計	745,990	425.5%	767,357	418.2%	21,367	102.9%

・体育館・流水プールの有料営業期間：平成26年度は、7月19日から8月31日まで。平成27年度は7月18日から8月31日まで

(別表2) 自転車競技大会一覧

開催月	主な大会	主催団体	参加選手	
主 催	4月	Challenge The Izu Velodrome 第1戦	日本サイクルスポーツセンター	37人
	5月	CSCクリテリウムシリーズ 第1戦	日本サイクルスポーツセンター	75人
	5月	Challenge The Izu Velodrome 第2戦	日本サイクルスポーツセンター	27人
	5月	CSCクリテリウムシリーズ 第2戦	日本サイクルスポーツセンター	113人
	6月	Challenge The Izu Velodrome 第3戦	日本サイクルスポーツセンター	45人
	6月	CSCクリテリウムシリーズ 第3戦	日本サイクルスポーツセンター	77人
	7月	CSCクリテリウムシリーズ 第4戦	日本サイクルスポーツセンター	126人
	7月	第18回 CSC5時間耐久チームサイクルロードレース大会	日本サイクルスポーツセンター	435人
	7月	CSCトラック自転車競技大会2015夏(KID'S～マスターズ)	日本サイクルスポーツセンター	100人
	10月	CSCクリテリウムシリーズ 第6戦	日本サイクルスポーツセンター	98人
	10月	CSCトラック自転車競技大会2015秋	日本サイクルスポーツセンター	89人
	11月	A&F24時間耐久MTB CUP in サイクルスポーツセンター	日本サイクルスポーツセンター	209人
	12月	CSCクリテリウムシリーズ 第7戦	日本サイクルスポーツセンター	119人
	1月	2016新春CSC BMXチャッキーカップ	日本サイクルスポーツセンター	40人
	1月	CSCクリテリウムシリーズ 第8戦	日本サイクルスポーツセンター	82人
協 力	4月	全日本学生トラックレースシリーズ第1戦	日本学生自転車競技連盟	139人
	4月	第40回チャレンジサイクルロードレース大会	日本自転車競技連盟	832人
	4月	第84回全日本自転車競技選手権大会 トラック・レース 2015 日本パラサイクリング選手権・トラック大会	日本自転車競技連盟	294人
	5月	全日本学生トラックレースシリーズ第2戦 第16回修善寺女子オープントラック大会	日本学生自転車競技連盟	205人
	5月	第18回ツアー・オブ・ジャパン 伊豆ステージ	自転車月間推進協議会	93人
	6月	東海高等学校総合体育大会自転車競技大会 トラック	東海高等学校体育連盟	230人
	6月	東海高等学校総合体育大会自転車競技大会 ロード	東海高等学校体育連盟	32人
	6月	JCRCロードシリーズ第4戦in日本CSC	日本サイクルレーシングクラブ協会	288人
	7月	第56回全日本学生選手権トラック自転車競技大会	日本学生自転車競技連盟	412人
	7月	東京都選手権ロードレース兼東京都ジュニア強化大会	東京都自転車競技連盟	55人
	7月	JAPAN TRACK CUP I・II	日本自転車競技連盟	102人
	8月	第46回JBCF東日本トラック	全日本実業団自転車競技連盟	91人
	8月	2015年JOCジュニアオリンピックカップ自転車競技大会 2016年度JCFジュニア強化指定選手選考会	日本自転車競技連盟	417人
	9月	第47回中部8県対抗自転車競技選手権 第49回中部8県道路競走大会	日本自転車競技連盟 中部自転車競技連合 静岡県自転車競技連盟	211人
	10月	全日本学生トラックレースシリーズ第5戦	日本学生自転車競技連盟	87人
	10月	ジャパン・パラサイクリングカップ2015 トラック	日本パラサイクリング連盟	56人
	10月	ジャパン・パラサイクリングカップ2015 ロード	日本パラサイクリング連盟	34人
	11月	2015伊豆BMX国際	日本自転車競技連盟	180人
	11月	2015全日本選手権自転車競技大会 - マスターズ 2015全日本選手権自転車競技大会 - オムニアム	日本自転車競技連盟	113人
	12月	JCRCロードシリーズ最終戦in日本CSC	日本サイクルレーシングクラブ協会	179人
	12月	第6回東京エンデューロ	東京都自転車競技連盟	147人
	12月	2015ワンデイ・トラックレース ウインターシリーズ第1戦	静岡県自転車競技連盟	102人
	1月	第36回アジア自転車競技選手権大会 第23回アジアジュニア自転車競技選手権大会 第5回アジア・パラサイクリング選手権大会	日本自転車競技連盟	1,518人
	2月	2015ワンデイ・トラックレース ウインターシリーズ第2戦	静岡県自転車競技連盟	128人
	2月	2016東京都ウインターロードレース大会	東京都自転車競技連盟	169人
	3月	2015ワンデイ・トラックレース ウインターシリーズ第3戦	静岡県自転車競技連盟	103人
	3月	CSC Classic 2016	CSC Classic実行委員会	177人
3月	JCRCロードシリーズ第1戦in日本CSC	日本サイクルレーシングクラブ協会	279人	
3月	「白井滋杯」第56回社会人対抗ロードレース大会	東京都自転車競技連盟	128人	

<主催大会>

15大会・1,672人参加(5キロサーキット、MTBコース、BMXコース、伊豆ペドロームほか)
 ※ CSCクリテリウムシリーズの第5戦(9月)は、雨天のため中止。
 ※前年度実績 18大会・1,652人参加

<協力大会>

44大会・7,539人参加(5キロサーキット、MTBコース、BMXコース、400メートルピスト、伊豆ペドロームほか)
 ※前年度実績44大会・6,785人

(別表3) 自転車スクール及び自転車キャンプ開催内容一覧

区 名	内 容	参 加人数
小学生のための 自転車教室	自転車に乗れない小学生を対象にした日帰りの教室 4回開催(第95回:4月～第99回:2月) ※第95回は最少催行人数に達しなかったため中止	74人
女性のための 自転車教室	自転車に乗れない女性を対象にした1泊2日の教室 5回開催(第301回:4月～第305回:3月)	38人
スポーツバイク ライディングスクール	初心者を対象にしたロードバイクの乗り方教室 5回開催(5月～11月)	37人
クロストレーニングの 受入れ及び指導	自転車を利用した他スポーツのシーズンオフにおけるフィジカルトレーニング ・東レアローズ男子バレーボール部(Vプレミアリーグ) 8回開催(6月～7月) 選手15名、コーチ5名	39人
	・駒澤大学高等学校男子バレーボール部 1回開催(3月) 選手17名、監督・コーチ2名	
子供のための トラックキャンプ	小学校から中学生までを対象にした1泊2日の体験キャンプ 1回開催(1月) 小学生6人(男5人、女1人)、中学生9人(男6人、女3人)	15人
トラックウインターキャンプ	20歳以上のトラック競技愛好者を対象にした1泊2日の体験キャンプ 1回開催(2月) 男10人(28歳から62歳)、女2人(37歳・52歳)	12人
オリンピック3種目 体験キャンプ	小学校から中学生までを対象にした1泊2日の体験キャンプ 1回開催(3月) 小学生4人(男4人)、中学生1人(男1人)	5人
女性のための 自転車教室 (ステップアップ教室)	「女性のための自転車教室」修了者を対象にした1泊2日のステップ アッププログラム 1回開催(3月)	3人

(別表4) イベント開催内容一覧

	イベント名	開催日	主な内容		
自転車普及イベント	ゴールデンウィーク サイクルカーニバル	平成27年 5月 3日(日)	チビッコダンス体験スクール	1日	335人
		～同 5月 5日(火)	キャラクターショー(2種類)	2日	1,671人
	ストライダー大会	平成27年 4月18日(土)	2015FM IS CUP STRIDER Park	4日	291人
		～同11月23日(月)	第1戦～第8戦(内、4戦は雨天中止)		
	一輪車競技大会 ～共催～	平成28年 3月 6日(日)	第5回 STRIDER MiniMini チャッキーカップ	1日	140人
		平成27年 6月28日(日)	第12回CSC3時間耐久一輪車レース大会	1日	249人
		平成28年 1月 3日(日)	第26回新春静岡県一輪車競技大会	1日	128人
	夏のサイクルカーニバル	平成27年 8月 1日(土)	CSC自主イベント(2種類)	18日	1,136人
		～同 8月23日(日)	キャラクターショー(2種類)、お笑いライブ	4日	1,500人
	秋のサイクルカーニバル	平成27年 9月20日(日)	キャラクターショー(3種類)	3日	2,352人
		～同 9月22日(火)			
	サイクリング大会	平成27年10月10日(土)	アクロバットショー	1日	210人
		～同10月12日(月)	キャラクターショー(1種類)	2日	497人
サイクリング大会	平成27年12月19日(土)	2015伊豆ポタリングツアー	1日	31人	
新春サイクルカーニバル	平成27年12月19日(土)	(観光名所を巡る40kmコース)			
	平成28年 1月 1日(金)	新春開運餅まき大会、運ためし抽選会	3日		
春のサイクルカーニバル	平成28年 1月 3日(日)	健康増進イベント(200mタイムアタック、カロチャレ)	1日	559人	
	平成28年 3月20日(日)	ドリフトキング	3日	66人	
春のサイクルカーニバル	平成28年 3月27日(日)	ドリフトキング	2日	37人	
	～同 3月27日(日)	スペシャルライブ	1日	90人	
春のサイクルカーニバル	～同 3月27日(日)	キャラクターショー(2種類)	2日	2,061人	
健康増進イベント	ウォーキング	平成27年 4月26日(日)	第18回サイクル春の山菜採り健康ウォーキング	1日	210人
	体育の日イベント	平成27年 4月26日(日)	(5km、10kmコース)		
		平成27年10月12日(月)	体育の日「健康イベント」	1日	237人
	マラソン大会	平成27年10月12日(月)	固定ローラースピード測定、カロチャレ		
		平成27年12月23日(水)	第11回伊豆サンタマラソン	1日	212人
	フットサル大会	平成27年 5月16日(土)	1Dayナイトリーグ	5日	261人
～同11月21日(土)		(会員及び一般延べ27チームによるリーグ戦)			
健康プログラム	平成28年 2月11日(木)	CSC山のカップ ビギナーズ The10th	1日	80人	
	平成27年 5月12日(火)	(会員及び一般8チームによるリーグ戦&トーナメント戦)			
	平成27年 5月12日(火)	サイクルフィット	5日	5人	
～同 8月 4日(火)	(基本ストレッチから筋カトレニングまでトータル実施する運動教室)				
～平成28年 3月29日(火)	パワートレーニング	41日	92人		
～平成28年 3月29日(火)	(各種マシンを使用する筋力アップトレーニング)				

(別表5) 自転車競技体験プログラム一覧

開催日	主な内容
平成27年 7月29日(水)	伊豆市教育委員会 ふるさと学級 1日 35人 (伊豆市 15名、平塚市20名) (トラック、MTB及びBMX競技の各種体験プログラム)
平成27年 8月 4日(火)	伊豆市立熊坂小学校 PTA家庭学級 1日 38人 (トラック、MTB及びBMX競技の各種体験プログラム)
平成27年 9月 7日(月) ～平成27年12月14日(月)	静岡県立伊豆総合高等学校体育科目授業 15日 245人 第1グループ(3年生) 17人(実習回数5回) 第2グループ(3年生) 17人(実習回数5回) 第3グループ(2年生) 15人(実習回数5回) (伊豆ペロドロームでのトラック競技実習)
平成28年 1月20日(水)	みしまジュニアスポーツアカデミーへの協力 1日 25人 競技講話「自転車競技の魅力について」 ※平成28年度より競技体験(6回)実施予定

(別表6) 広報宣伝活動内容一覧

媒体名		内 容			
広 告	テレビ	静岡朝日テレビ	15秒スポット	60本	
	新聞	静岡新聞、伊豆日日新聞		2紙 5回	
	雑誌	読売ファミリーサークル、JAFメイト、全福ネットガイドブック		3誌 5回	
	車内吊	新東海バス	2枚/車両・1期7日	35車両 52期	
	看板	伊豆箱根鉄道・駿豆線(修善寺駅構内看板)		1基	12ヵ月
		伊東マリンタウン(観光案内看板)ほか		2基	12ヵ月
	インターネット	伊豆市ホームページ			12ヵ月
		アットメール(携帯ホームページ付メール配信システム)			12ヵ月
		いこーよ(子供とおでかけ情報サイト)			12ヵ月
		ロケナビ!(ロケ地検索サイト)			6ヶ月
yahoo! YDN&インフィード広告		2期	2回		
その他	ハッピークーポンほか		3件	8回	
	大会協賛広告(第46回JBCF東日本トラック・レース ほか)			7回	
パ ブ リ シ テ ィ	オリ ン ピ ッ ク 関 連	テレビ	静岡県内全局	5局	9回
		新聞	静岡、伊豆日日、朝日、読売、中日、産経、日本経済、スポーツ3紙	10紙	48回
		雑誌	静岡県広報誌「県民だより」	1誌	2回
	そ の 他	テレビ	NHK、TBSテレビ、静岡県内全局	7局	29回
		ラジオ	文化放送	1局	1回
		新聞	静岡、伊豆日日、朝日、読売、中日	5紙	74回
		雑誌	静岡総合情報誌「ネオスタ」、CYCLESports、ほか県広報2誌	4誌	5回
		インターネット	静岡県Web「痛快!静岡県」	1件	1回

(別表7) 販売促進活動内容一覧

(単位:人)

区 分	営業予約実績		来 場 実 績			
	件 数	人 数	一般入場	サイテル宿泊		
				スポーツ合宿	営業外	計
4 月	6	1,244	495	439	470	909
5 月	7	1,085	920	712	534	1,246
6 月	7	1,379	447	182	759	941
7 月	8	705	1,746	1,056	1,046	2,102
8 月	3	680	2,474	2,134	1,022	3,156
9 月	5	535	1,159	610	511	1,121
10 月	5	626	291	201	674	875
11 月	6	928	280	155	941	1,096
12 月	4	570	340	172	694	866
1 月	7	702	132	98	618	716
2 月	5	658	295	158	523	681
3 月	7	851	954	658	702	1,360
合 計	70	9,963	9,533	6,575	8,494	15,069
前年度	82	10,282	9,064	6,173	7,060	13,233
増 減	△12	△319	469	402	1,434	1,836

(別表8) 諸会議開催内容一覧

会議名	開催内容
理事会	<p>第12回理事会（平成27年6月2日開催、東京）</p> <p>（議案第1号）平成27年度収支予算の補正について</p> <p>（議案第2号）平成26年度事業報告及び附属明細書について</p> <p>（議案第3号）平成26年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び同附属明細書並びに財産目録について</p> <p>（議案第4号）平成26年度公益目的支出計画実施報告について</p> <p>（議案第5号）第9回評議員会の招集について</p> <p>（職務執行報告）</p> <p>パラリンピックNTC自転車競技強化拠点の正式指名について</p> <p>近隣観光施設等との集客タイアップ策の計画について</p> <p>今期のGWの入場者の状況について</p>
	<p>第13回理事会（平成28年1月4日、書面による決議）</p> <p>（議案第1号）第10回評議員会の招集について</p>
	<p>第14回理事会（平成28年1月13日開催、東京）</p> <p>（議案第1号）第32回オリンピック競技大会（2020／東京）における自転車競技（トラック競技及びマウンテンバイク競技）の競技会場の指名について</p> <p>（職務執行報告）</p> <p>第32回オリンピック競技大会（2020／東京）における自転車競技（トラック及びマウンテンバイク競技）の競技会場指名の経緯について</p> <p>2016アジア自転車競技選手権大会受入の準備状況について</p> <p>今期の有料入場者の推移について</p>
	<p>第15回理事会（平成28年3月15日開催、東京）</p> <p>（議案第1号）平成28年度事業計画について</p> <p>（議案第2号）平成28年度収支予算について</p> <p>（議案第3号）第11回評議員会の招集について</p> <p>（職務執行報告）</p> <p>オリンピック競技会場指名後の関係機関との折衝状況及び山積する諸課題について</p> <p>有料入場者の内訳と主要な収入財源との関連について</p> <p>今期の入場者の動向と年度末の見通しについて</p>
評議員会	<p>第9回評議員会（平成27年6月17日開催、東京）</p> <p>（議案第1号）平成26年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び同附属明細書並びに財産目録について</p> <p>（報告事項1）平成26年度事業報告及び附属明細書について</p> <p>（報告事項2）平成26年度公益目的支出計画実施報告について</p> <p>（報告事項3）平成27年度収支予算の補正について</p>

会議名	開催内容
評議員会	第10回評議員会（平成28年1月13日開催、東京） （報告事項1）第32回オリンピック競技大会（2020／東京）における自転車競技（トラック競技及びマウンテンバイク競技）の競技会場の指名について （報告事項2）2016アジア自転車競技選手権大会について （報告事項3）平成27年度有料入場者の推移について
	第11回評議員会（平成28年3月23日開催、東京） （報告事項1）平成28年度事業計画について （報告事項2）平成28年度収支予算について
常勤役員会	第1回常勤役員会（平成27年5月19日） （議案第1号）平成27年度収支予算の補正について （議案第2号）平成26年度事業報告について （議案第3号）平成26年度決算報告について
	第2回常勤役員会（平成27年9月16日） （議案第1号）平成28年度競輪補助事業への要望について
	第3回常勤役員会（平成27年10月19日） （議案第1号）平成28年度営業計画について
	第4回常勤役員会（平成27年12月15日） （議案第1号）平成28年度勤務計画について
	第5回常勤役員会（平成28年3月8日） （議案第1号）平成28年度事業計画について （議案第2号）平成28年度収支予算について
その他	役職員懇談会（6回開催：平成27年4月～平成28年3月）
	管理職会議（11回開催：平成27年4月～平成28年3月）
	営業施設の安全対策委員会（11回開催：平成27年4月～平成28年3月）
	防火管理委員会（4回開催：平成27年6月、8月、12月、平成28年1月）
	労務運営委員会（2回開催：平成27年6月、平成28年1月）
	日本競輪学校との定例連絡会（12回開催：平成27年4月～平成28年3月）

(別表9) 職員研修内容一覧

	研 修 名	回 数	参 加 者
研 資 質 向 修 上	全体研修(1月) ・東京2020オリンピック競技大会及び自転車競技全般	1回	全従業員(34名)
資 格 取 得	日本サッカー協会フットサル4級審判員(4月)	1回	競技振興係担当者(1名)
	水道技術管理者資格取得講習会(9月、10月、1月、2月)	1回	施設課長(1名)
	甲種防火管理者資格取得講習会(2月)	1回	販売事業部次長(1名)
一 般 研 修 会 ・ 講 習 会	人事制度基本講座(4月)	1回	常務理事(1名)
	女性ジュニアアスリート指導者講習会(6月)	1回	競技振興係担当者(1名)
	日本トレーニング指導者協会関東支部ワークショップ(7月)	1回	競技振興課長(1名)
	テーマパークEXPO2015&SPORTEC2015	1回	常務理事、普及事業係長、競技振興係担当者(計3名)
	地域ヘルスケア産業創出・推進セミナーin静岡(8月)	1回	常務理事(1名)
	静岡県における自転車走行の環境整備(オリンピックガシニに向けて)セミナー(8月)	1回	常務理事(1名)
	安全運転管理者法定講習会(8月)	1回	総務部長(1名)
	静岡県ヘルスケア産業振興協議会「新しい伊豆産業創出セミナー」(9月)	1回	競技振興課長、同担当者(計2名)
	組織力強化と業績向上に効果が上がる昇進昇格者の選び方講習会(10月)	1回	常務理事(1名)
	マイナンバー制度の実務対応セミナー(10月)	1回	総務係長・担当者(計2名)
	日本規格協会「アクティブレジャー認証事業説明会」	1回	職員(7名)
	スポーツ庁「生涯スポーツ・体力づくり全国会議2015」(2月)	1回	競技振興課長、同担当者(計2名)
	静岡県経済同友会東部協議会 「富士・箱根・伊豆は自転車の聖地となりうるか」(2月)	1回	常務理事、総務部長、普及事業部次長、 競技振興部次長 (計4名)
	日本体育協会公認コーチ更新必須講座 「平成27年度第2回静岡県スポーツ指導者講習会」(2月)	1回	競技振興係担当者(1名)
ナショナルトレーニングセンターセミナー(2月)	1回	競技振興課長(1名)	
競技別NTC合同ミーティング(2月)	1回	競技振興課長(1名)	
派 講 遣 師	伊豆市市民健康講座 「体組成測定・健康づくりのための運動実践」(1月)	1回	競技振興係担当者(1名)
各 種 訓 練	地震総合訓練(9月、1月)	2回	職員・保守管理業者(9月39名、1月35名)
	消防総合訓練(6月、12月)	2回	職員・保守管理業者(6月37名、12月35名)
	利用者救助訓練 サイクルコースター(7月、2月)	1回	普及事業課(7名)
	サイクルモノレール(2月)	1回	普及事業課(7名)
	サイクルUFO(2月)	1回	普及事業課(7名)
	5キロサーキット(3月)	1回	普及事業課(6名)